令和八年度　お茶の水女子大学　文教育学部

学校推薦型選抜　帰国生徒・外国学校出身者特別選抜

試験問題

人文科学科（哲学・倫理学・美術史プログラム）

【注意事項】

1　監督者の指示があるまで解答を開始しないこと。

2　試験問題は、この表紙を含めて3ページある。万一落丁等がある場合には挙手をして監督者に知らせること。

3　試験問題および下書き用紙は、持ち帰ること。

令和八年度　お茶の水女子大学

学校推薦型選抜　帰国生徒・外国学校出身者特別選抜　試験問題

文教育学部　人文科学科（哲学・倫理学・美術史プログラム）

【問題一】次の文章を読んで問一、二に答えなさい。

この部分に記載されている文章については、
著作権法上の問題から掲載することが
できませんので、ご了承願います。

この部分に記載されている文章については、
著作権法上の問題から掲載することが
できませんので、ご了承願います。

出典：岡真理『思考のフロンティア　記憶／物語』岩波書店、二〇〇〇

（出題のために原文の一部を改変・省略した。）

問一　傍線部の意味を、本文の内容に即して二百字以内で説明しなさい。

問二　本文の内容を踏まえつつ、暴力的な出来事を語ることについて、六百字以内で自分の考えを述べなさい。

令和八年度　お茶の水女子大学　文教育学部

学校推薦型選抜　帰国生徒・外国学校出身者特別選抜

高大連携特別選抜　試験問題

人文科学科（比較歴史学プログラム）

【注意事項】

1　監督者の指示があるまで解答を開始しないこと。

2　試験問題は、この表紙を含めて3ページある。万一落丁等がある場合には挙手をして監督者に知らせること。

3　試験問題および下書き用紙は、持ち帰ること。

令和八年度　お茶の水女子大学
学校推薦型選抜　帰国生徒・外国学校出身者特別選抜　高大連携特別選抜　試験問題
文教育学部　人文科学科（比較歴史学プログラム）

次の文章を読み、問一、問二に答えなさい。

この部分に記載されている文章については、
著作権法上の問題から掲載することが
できませんので、ご了承願います。

出典：比嘉吉志「農村の人口増加とイモ・ソテツの話」（前田勇樹・古波藏契・秋山道宏編『増補版　つながる沖縄近現代史―沖縄のいまを考えるための十五章と二十五のコラム』（ボーダーインク、二〇二五年）。引用にあたり、省略・改変したところがある。

※１福州：現在の中国福建省福州市の地名。
※２首里：琉球王国の都。現在の沖縄県那覇市の地名。

問一　傍線部「沖縄のイモとソテツの歴史は、それが必ずしも普遍的なものではない、ということを教えてくれる」とは、具体的にどういうことか。本文に即して述べなさい（二〇〇字以内）。

問二　本文中の事例のほかに、「自分の知識や価値観が必ずしも普通なものではない」に該当するテーマを設定し、異なる二つの地域や時代の間にみられる差異を比較して論じなさい。なお、比較する対象は食文化に限定せず、地域や時代も問わない（六〇〇字以内）。

令和8年度　お茶の水女子大学　文教育学部
学校推薦型選抜　　試験問題
人文科学科（地理環境学プログラム）　小論文

【問題】　次の文章を読み、問一と問二に答えなさい。

この部分に記載されている文章については、
著作権法上の問題から掲載することが
できませんので、ご了承願います。

この部分に記載されている文章については、
著作権法上の問題から掲載することが
できませんので、ご了承願います。

この部分に記載されている文章については、
著作権法上の問題から掲載することが
できませんので、ご了承願います。

出典：香川雄一・上杉和央「観光と地域」，上杉和央・香川雄一・近藤章夫編『みわたす・つなげる人文地理学』古今書院　2021 年，50-55 頁を一部改変。

問一　日本国内の観光地の特徴の変化について、本文の内容に即して 200 字以内にまとめなさい。

問二　下線部について、本文にない具体的な観光地を１つ取り上げて、それがとくに「多様なアクターと複雑な要因によって創造」されている様子を 600 字以内で説明しなさい。

令和八年度　お茶の水女子大学　文教育学部

学校推薦型選抜　試験問題

言語文化学科（日本語・日本文学プログラム）

次の文章を読んで、後の問いに答えよ。

この部分に記載されている文章については、
著作権法上の問題から掲載することが
できませんので、ご了承願います。

この部分に記載されている文章については、
著作権法上の問題から掲載することが
できませんので、ご了承願います。

この部分に記載されている文章については、
著作権法上の問題から掲載することが
できませんので、ご了承願います。

この部分に記載されている文章については、著作権法上の問題から掲載することができませんので、ご了承願います。

（佐伯真一『平家物語の合戦―戦争はどう文学になるのか』に基づき、一部省略・改変した。）

注

○覚一本―『平家物語』の異本の一系統。琵琶法師の明石覚一（?～一三七一）がまとめた。

○延慶本―延慶年間（一三〇八～一三一一）に書写された写本。

○九郎―源義経（一一五九～一一八九）の通称。

○唐船を用いた偽装作戦―唐船は中国風の大型の船で、通常身分の高い人が乗る。平氏方は唐船に兵を潜ませ、源氏方が唐船を攻めてきたところを取り囲んで討とうとした。

○下知―命令。　○後胤―子孫。　○郎等―家来。

○石母田正―一九一二～一九八六。歴史学者。『平家物語』に関する著書に『平家物語』（岩波書店、一九五七年）がある。

○千鈞―非常に重いこと。

○知章最期―平知盛（一一五二～一一八五）の長男知章（一一六九～一一八四）は、敗走中に父を守って討ち死にした。

問一　傍線（1）「知盛は『もう戦いはやめておけ』と言ったのだという理解」はなぜ生まれたと考えられるのか、本文の趣旨に即して説明せよ。

問二　筆者は、傍線（2）「古典文学を読むということは、その時代の人々の心にできるだけ近づいて読むことなのか、それとも、時代を超えて私たちの心に訴えかけてくる魅力を引き出してゆくことなのか。改めて考えさせられるのである。」と述べているが、この問題をあなた自身はどのように考えるか。本文とは異なる具体例を挙げつつ、五〇〇字程度で述べよ。

（問題以上。答案用紙のみ提出のこと）

令和八年度　お茶の水女子大学　文教育学部
学校推薦型選抜　帰国生徒・外国学校出身者特別選抜　試験問題
言語文化学科（中国語圏言語文化プログラム）

次の文章を読んで、後の問いに答えよ。

この部分に記載されている文章については、
著作権法上の問題から掲載することが
できませんので、ご了承願います。

この部分に記載されている文章については、
著作権法上の問題から掲載することが
できませんので、ご了承願います。

（山梨正明『自然論理と日常言語　ことばと論理の統合的研究』により、一部省略・改変して用いた。）

問（一）　傍線部にあるように、形式言語の客観性の基準からすれば日常言語は「非論理的」である。この「非論理性」を、本文の例をもとにして二百字以内で説明せよ。

問（二）　「論理」と「文学」の関係について、考えるところを六百字以内で論じよ。

（問題以上。答案用紙のみ提出のこと）

令和8年度　お茶の水女子大学　文教育学部

学校推薦型選抜　帰国生徒・外国学校出身者特別選抜　試験問題

言語文化学科（英語圏言語文化プログラム）

次の設問に英語で答えなさい。答えは答案用紙に記入しなさい。

Some people say it is more important for Japanese students to learn Japanese than to learn English. To what extent do you agree with this idea and why?

令和8年度　お茶の水女子大学　文教育学部　学校推薦型選抜　試験問題

言語文化学科（仏語圏言語文化プログラム）

［問い］

　昨今、本を読むことの意義が薄れているかのような風潮があります。有名な書籍であればインターネット上のブログや動画サイトでその内容が解説されていることも多いですし、そうでなくとも生成ＡＩに本の内容の要約を頼めば瞬時に出力してくれます。もちろんＡＩの発展はまだ道半ばであり、不正確な要約が出力されることも少なくないので盲信することは現時点ではできません。しかし今後、技術的な発展がさらに進めば、あらゆる本の内容の完璧な要約をＡＩが瞬時に出してくれる時代になるでしょう。またそれと同様に、ＡＩの進歩によって人間が自力で文章を書くことの意義もほとんどなくなっていくことが予想されます。そのような状況においてもなお、人間が自力で文章を書き、また自力で多くの書籍を読むことにどのような意味があるのでしょうか。あなたの考えを具体例を交えつつ１０００字以上１２００字以内で述べてください。

令和8年度　お茶の水女子大学　文教育学部

学校推薦型選抜　帰国生徒・外国学校出身者特別選抜　高大連携特別選抜　試験問題

人間社会科学科（教育科学プログラム・子ども学プログラム）　小論文

≪注意事項≫

1　監督者の指示があるまで解答を開始しないこと。

2　試験問題は、この表紙を含めて3ページあります。

3　答案用紙は 2 枚あります。

4　各問題で指定された答案用紙に解答すること。

5　試験問題および下書き用紙は持ち帰ること。

次の英文は、ある教育プログラムをリードした女性（Kalyn）の体験に基づくエピソードである。このプログラム（PDP; Professional Development Program）は成果を挙げたので、他の教育機関から多くの見学者が訪れていた。この英文を読み、以下の問いに日本語で答えなさい。

この部分に記載されている文章については、
著作権法上の問題から掲載することが
できませんので、ご了承願います。

出典）Schön, D. A. (1988). Coaching reflective teaching. In P. P. Grimmett & G. L. Erickson (Eds.) *Reflection in Teacher Education.* Teachers College Press, p. 25.　より一部改変。

注）replicate ― 再現する
novice ― 新参者、初心者
boiler-plate manual ― 模範例を示したマニュアル
parsimonious ― 倹約的な、大量に使うのを嫌がる
crave ― ～を切望する、無性に欲しがる
adaptor ― 適合させる人、翻案者
transfer ― 移し替える
exposure　触れること、影響されること、さらされること

（問題は次頁）

問１　下線部(1)〜(3)を日本語に訳しなさい。人名・略語は原語のままでよい。

問２　**A** で示した段落では、見学者には２通りあったことが対比的に語られている。それぞれどのような見学者たちであり、どのような違いがあったのか、80〜120 字で述べなさい。

問３　優れた教育実践を他の教師たちに伝えるためには、どのような伝え方が望ましいと考えられるか、本文の内容を踏まえた上で、あなたの考えを 180〜220 字で述べなさい。

令和8年度　お茶の水女子大学　文教育学部
学校推薦型選抜　試験問題
芸術・表現行動学科（舞踊教育学専修プログラム）

≪注意事項≫

1　監督者の指示があるまで解答を開始しないこと。

2　試験問題は、この表紙を含めて2ページあります。

3　答案用紙は2枚あります。下書き用紙は１枚です。

4　各問題で指定された答案用紙に解答すること。

5　試験問題および下書き用紙は持ち帰ること。

令和 8 年度　お茶の水女子大学　文教育学部

学校推薦型選抜　試験問題

芸術・表現行動学科（舞踊教育学専修プログラム）

I.　芸術は人々の健康や福祉へ大きな役割を果たすことが明らかになっており、制作・創作や鑑賞といった芸術活動への参加が世界保健機関より推奨されている。このことを踏まえて、次の設問に答えなさい。

上演舞踊を鑑賞することがどのような点で人や社会へ好ましい影響をもたらすと考えるか。音楽、絵画、演劇、文学などのその他の芸術分野と比較しながら、具体的な事例を挙げて説明しなさい。(50 点)

II.　インドネシア・バリ島の舞踊について書かれた次の英文を読み、設問に答えなさい。

(1)　下線部を、日本語に訳しなさい。(25 点)

(2)　インド古典舞踊とバリ舞踊の手指による表現の相違点について、本文に即して説明しなさい。(25 点)

この部分に記載されている文章については、
著作権法上の問題から掲載することが
できませんので、ご了承願います。

agem　アグム（バリ舞踊の基本姿勢の型）。　tenets　原則、理念。

mudras　ムドラ。インドの舞踊の手や指のジェスチャーを用いた象徴的な型。

kathakali　カタカリ。南インドのケーララ州に伝わるインド古典舞踊劇。

bharatanatyam　バラタナティアム。南インドのタミル・ナードゥ州に伝わるインド古典舞踊。

出典（一部改変）

Patricia Leigh Beaman, *World Dance Cultures: From Ritual to Spectacle*, Routledge, 2018.

令和8年度　お茶の水女子大学　文教育学部
学校推薦型選抜　帰国生徒・外国学校出身者特別選抜　試験問題
芸術・表現行動学科（音楽表現専修プログラム）

問題　次の文章は、西洋近代の音楽文化を特徴づけてきたとされる、ある演奏観について述べたものです。文章を読んで、次の問いに答えなさい。

この部分に記載されている文章については、
著作権法上の問題から掲載することが
できませんので、ご了承願います。

Nicholas Cook, *Beyond the Score: Music as Performance*, Oxford University Press, 2013, pp.8-10 を一部改変。

注

1. ハインリヒ・シェンカー（1868–1935）：オーストリア出身の音楽学者・理論家。
2. アルノルト・シェーンベルク（1874-1951）：オーストリア出身の作曲家。
3. Arnold Schoenberg, *Style and Idea: Selected Writings of Arnold Schoenberg*, Leonard Stein, ed., Leo Black, trans., London: Faber & Faber, 1975: 274–75.
4. atonality：無調。
5. serialism：音列主義。シェーンベルクが確立した十二音技法や第二次世界大戦後の総音列主義などを含む作曲技法の動向。

問１　下線部（１）の their topic とは、ここでは具体的に何を指すか。本文中の1語を抜き出して答えなさい。
問２　下線部（２）で述べられる「想定ないし偏見」とはどのようなことか。本文に即して説明しなさい。
問３　下線部（３）を日本語に訳しなさい。
問４　下線部（４）は20世紀音楽史の旧来の記述のあり方を批判した比喩である。何が何にたとえられているのかという対応関係に留意しながら、筆者がここで言わんとしていることを文脈に即してわかりやすく説明しなさい。
問５　音楽の伝達を媒介するものが、音楽（楽曲）に与えうる影響について400～500字で論述しなさい。